



*** 島津貴之**小矢部みらいロータリー衛星クラブ副議長
私は昨年、小矢部ロータリークラブの会長を務めました。クラブは2年前に50周年を迎え、私はその翌年、51年目の会長となりました。大きな周年事業の後は会員が減りがちで、当時は38名ほど。さらに減るのではと心配していた時期に、衛星クラブ設立の話が持ち上がり、私の最初の例会で設立が実現しました。

衛星クラブはデメリットがなく、本会と両輪で活動することで正会員の補充や新規入会が進みました。私の年度には6名が正会員となり、出戻りや高齢の方も柔軟に受け入れることができました。衛星クラブは会費も安く入りやすいため、まずこちらから勧誘し、適性を見て正会員へつなぐことも可能です。

また、衛星クラブでは勉強会を月1回開いており、正会員も一緒に学ぶことでクラブ全体の雰囲気引き締まり、質が高まったと感じています。若い新入会員は事業の中心となり、かつての青年会議所のアカデミーのような役割を果たしています。衛星クラブができたことで小矢部ロータリーは大きく前進しました。ぜひ南砺でも設立し、輪が広がれば嬉しく思います。

*** 稲葉 誠**小矢部みらいロータリー衛星クラブ幹事

私が「衛星クラブ」を思いついたのは、50周年事業がきっかけやっただけです。周年行事のあと、辞めたいと言い出す会員が出てきて、どう食い止めるかを考えた時に「別の形のクラブ」が浮かんだ。それが衛星クラブでした。実際には制度として表に出てきたのは8年か9年前で、世界的に会員減少が深刻になり、会費や出席義務を軽くして裾野を広げようという発想から生まれたんやと思います。正直「人頭分担金」のためという裏事情もあったかもしれませんが、私はそれを逆手に取り、仲間をつなぎ止めるために立ち上げました。突貫工事のように半年で申請して、最初は中身も未整理やったけど、2年目に入りだんだん形が見えてきたんです。

衛星クラブの良さは、会員拡大に直結することやちゃ。まず「お試し入会」やね。会費安いし出席も少なくていいから気軽に来れる。次に「スライド入会」。これは本会を辞めそうな人を一時的に受け止める仕組みです。実際に私の同期も辞めると言いながら衛星に残り、今では理事までやっとなる。さらに「再入会」。事情で辞めた人がまた戻れる場にもなる。焼肉屋のお母ちゃんみたいに「また入ったら皆で食べに行くぞ」と誘えば戻ってくる人もある。ほかに「他クラブとの兼任入会」「二世・夫婦会員」「本会とのダブル入会」など、柔軟な形が取れるのも特徴です。最低8人いれば立ち上げ可能で、犠牲的にダブル入会して支えてくれる人があれば十分回る。だから新人衛星会員はどんどん増やせるし、将来的には大きな力になると思います。

私が面白いと思うのは、これが単なる小矢部ロータリーや地区2610にとどまらず、世界のロータリー全体の会員減少に風穴を開ける可能性があること。裾野を広げ、「お母ちゃんでも入れる」くらい気軽なクラブにする。最初は月5千円で始めて今は8万円になったけど、それでも本会に比べれば安い。高い会費や毎週の出席義務が壁になっという現状を変えられる仕組みやと思うんです。

衛星の運営では「親睦」「共同活動」「研修」「持続可能性」「会員増強」の5つを重視しています。まずは仲間同士が仲良くなること。そこから本会と協力して活動を広げる。新人教育も大切で、研修の場を設けて理念や歴史を学んでもらう。そして組織が続くためには世話役を固定化し、本会と衛星の人事をうまくつなぐ必要がある。ありがたいことに来年度以降3年間は、本会の直前会長が順に衛星の議長を務める流れになっていて、これは大きな支えになります。

(今回の会報担当: 藤井一哉)

*** R情報・雑誌委員会 木村伊徳委員長**



今日は情報委員会のセミナーで、先日、船藤さんから衛星クラブのことについて聞いてもらえばどうだろうという話があり、喜んで船藤さんをお願いし、今日、小矢部からお二方に来ていただきました。稲葉さんに詳しいことを聞いていただければと思います。先月の「ロータリーの友」にも書いてありましたが、韓国では衛星クラブで、新しいロータリーの人々が1000人増えたということも言われています。皆さんもぜひこの機会にですね、この衛星クラブのことについて聞いていただければと思います。

*** 会員維持・増強委員会 船藤幸生委員長**



私の卓話当番が7月15日でしたが、その時、都合悪いということで、今日来てもらいました。増強委員長になって、地区の大会の時に稲葉さんと会って、「来年増強委員長せんなんがや。」言うたら衛星クラブの話が出たので、これは聞いた方がいいと思い、お願いしました。ガバナーズマンスリーを見ても6人ぐらい、小矢部ロータリーの衛星クラブ新しく入会されてますし、そんな話もと思って今日は来ていただきました。小矢部さんも同じ火曜日例会で例会日重なっているんですけど、無理を言って来ていただきましたので、どうぞよろしくお願いします。

⇒ 会員拡大の本当の意味についても触れておきたい。単に人数を増やすことやなく、人のお役に立つ人間を増やすことやちゃ。私自身、入会当初は「仕方なく」やったけど、深田園や清楽園の奉仕活動で世話をしながら「人の役に立つ喜び」に気づいた。衛星もまた、奉仕活動を通じて自他ともに喜びを感じる仲間を募る場です。実際、衛星からはポリオプラスや保護司活動、国際交流や里親制度など、自分のやりたいことを形にしたい人が出てくる。そういう人をターゲットにすれば、自然と人が集まってくるし、南砺市のように人材豊富な地域なら特に伸びる余地が大きいと思います。

最終的に私が言いたいのは、「ロータリーは足長おじさんになれる」ということ。お金や時間に余裕がなくても、人の役に立ちたいという気持ちを持つ人に場を提供する。それが衛星の強みであり、ロータリー全体の未来にもつながるはず。今は走りながら考えとる最中ですが、やってみれば損はない。8人集まれば始められる。とにかく一歩踏み出すことが大事やと思っています。

**[小矢部みらいロータリー衛星クラブ]
スローガン & 2期目の取り組み
チャレンジ THE 衛星**

/ 奉仕人口を増やそう!!

奉仕活動に自・他共に喜びを感じあえる仲間を募る。
本会衛星両会員各自が共に奉仕活動を実感できることを目指す。

***小矢部みらいREC事業目的**

- 1・親睦く仲間・同志)スポンサークラブ会員との相互交流。
- 2・協働活動単年度及び継続事業等においてSクラブとの協力連携タイアップ。
- 3・研修活動ロータリーの理念、歴史、基礎知識を学ぶ。
- 4・持続可能組織の構築(本会と衛星の関係。《クラブINクラブ》)(衛星クラブ議長はスポンサークラブ会長退任後副議長・議長と順番に就任する)
- 5・会員増強本会と協力、本会衛星対象者振り分け&絞り込みとアタック。

***会員募集対象**

- ・お試し入会(諸事情により入会を迷っておられる方)
- ・スライド入会(本会を退会されたい方の完全退会防止)
- ・過去在籍ロータリアンの(再)入会
- ・他クラブと兼任入会
- ・二世、夫婦会員のすみ分け入会
- ・本会とのダブル入会(衛星運営担当)